

社会資本総合整備計画 事後評価シート

太田駅南口地区における民間活力を活かした都市機能の更新(2期)

令和 6 年 1 1 月

群馬県太田市

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和6年11月

計画の名称	太田駅南口地区における民間活力を活かした都市機能の更新（2期）								重点配分対象の該当	○	
計画の期間	令和元年度 ～ 令和5年度（5年間）					交付対象	太田市				
計画の目標	太田駅南口地区の多くの建築物は、築後40年余りを経過し、耐震性など防災面での不安を抱えるとともに、都市機能においても社会環境の変化に対応しきれず、中心市街地としての賑わいが失われつつある状況である。 そのため、高次都市機能の立地や市民の利便性を高める様々な機能が集積した中心拠点として、まちの再生を進める必要があることから、民間活力を活かした市街地再開発事業の実施を契機として、都市機能の更新や魅力ある都市空間として再整備を図り、賑わいのある中心市街地の再生を目指す。										
計画の成果目標（定量的指標）	・太田市浜町地区における就労者人口を1,558人（H28）から2,000人（R5）に増加させる。 ・「市民満足度アンケート」の設問「市街地の整備」の太田地区における満足度を市全体の平均値以上とする。 ・太田駅南口地区を含む行政区人口（飯田町）における居住人口を1,682人（H31.3）から1,750人（R6.3）へ増加させる。										
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値	備考	
									当初現況値 (R元当初)	中間目標値 (R元末)	最終目標値 (R5末)
	「経済センサス活動調査」における従業員数（浜町地区）を調査する。								※1 1,558人	—	※2 2,000人
	「太田市の取り組みに対する満足度と重要度に関するアンケート」の設問「市街地の整備」における太田地区の満足度指標 参考）H30 太田地区：3.907 太田市全体：3.970 ※当初現況値、最終目標値とも入力値の1/1000が実際の数値となる。								※3 3907	—	※4 3970
	住民基本台帳をもとに居住人口を調査する。								1,682人	—	1,750人
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	21,008百万円	A	21,008百万円	B		C		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		

事後評価									
○事後評価の実施体制、実施時期									
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期				
太田市					令和6年11月				
					公表の方法				
					太田市ホームページにて公表				

1. 交付対象事業の進捗状況													
交付対象事業													
A1 基幹事業													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度） R元 R2 R3 R4 R5	全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A-1	住宅	一般	太田市	間接	個人施行者	太田市浜町第二地区第一種市街地再開発事業	敷地の高度化、共同化 A=1.3ha	太田市		5,920	1.10		
A-2	住宅	一般	太田市	間接	個人施行者	太田駅南口第四地区第一種市街地再開発事業	敷地の高度化、共同化 A=0.2ha	太田市		2,547	1.02		
A-3	住宅	一般	太田市	間接	個人施行者	太田駅南口第三地区第一種市街地再開発事業	敷地の高度化、共同化 A=1.6ha	太田市		12,541	1.07		
									合計	21,008			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度） R元 R2 R3 R4 R5	全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									合計				
C 効果促進事業													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） R元 R2 R3 R4 R5	全体事業費 (百万円)	備考		
									合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度） R元 R2 R3 R4 R5	全体事業費 (百万円)	備考		
									合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・就労者人口の増加を目標とした。就労環境の整備が進み、一定の効果がみられた。 ・市民満足度アンケートの数値（満足度）の増加を目標とした。数値は目標値を超えており、再開発事業が目に見えて進捗、整備され、市民満足度の向上に寄与した。 ・住環境の向上により、行政区の居住人口の増加を目標とした。達成には至らなかったものの、居住人口の減少率が大きい地区において、再開発後は居住人口の減少が小さくなり、一定の効果が見られた。				
		Ⅱ 定量的指標の達成状況	就労者人口の増加	最終目標値	2,000 人	目標値と実績値 に差が出た要因
最終実績値	1,744 人					
Ⅱ 定量的指標の達成状況	市民満足度アンケートの数値（満足度）の増加	最終目標値	3970	目標値と実績値 に差が出た要因	景観への不満、治安への不安が減少したことから満足度が向上した。 （値的にはマイナスとなっているが、平均値が低下していることで、目標は達成している。） 参考）R5 太田地区：3.573 太田市全体：3.513 ※当初現況値、最終目標値とも入力値の1/1000が実際の数値となる。	
		最終実績値	3573			
	行政区の居住人口の増加	最終目標値	1,750 人	目標値と実績値 に差が出た要因	太田駅南口第三地区、太田駅南口第四地区については事業未完了のため、効果が現れていない。	
		最終実績値	1,569 人			
	Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		○令和6年地価公示 太田市飯田町が対前年変動率が2.6%と商業地として県内1の上昇率を示しており、再開発事業の成果が出ていると思われる。			
3. 特記事項（今後の方針等）						
・本整備計画において、太田駅南口第二地区、太田市浜町第二地区の市街地再開発事業が完了し、これらの事業により上記の効果を生み出している。 ・今後も引き続き、市街地再開発事業を推進することにより、中心市街地の賑わいの創出など更なる効果が期待できることから、継続してこれらの事業に取り組んでいく。 （「太田駅南口地区市街地総合再生計画」では、太田駅南口駅前広場整備事業及び太田駅南口第二地区市街地再開発事業の波及効果として、周辺地区における再開発事業等が連鎖的、継続的に実施されることを期待している。） ・太田市の核となる太田駅周辺において、立地に相応しい都市機能施設等の誘導を図ることで、賑わいを創出し、地域活力の向上と活気のあるまちづくりを目指し、土地の健全な高度利用や都市機能の更新を図っていく。						

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	太田駅南口地区における民間活力を活かした都市機能の更新（２期）		
計画の期間	R元年度 ～ R5年度（5年間）	交付対象	群馬県 太田市

